

* ページ数は「資料②-1人口ビジョン案の概要」、() は記載資料名等。

※ エデュティメント - 教育的要素が組み込まれたエンターテインメントのこと。テレビ番組、テレビゲーム、マルチメディアソフトウェア等のほか、体験型の博物館や教育的な遊戯施設等もその一種。

| 強み① アクセス | 強み② 人口 | 強み③ 学習・エデュティメント※ | 強み④ 希少資源 |
|--|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 西武池袋線・新宿線の2路線5駅の間で、都心へのアクセスや域内循環など、交通の便はよい | <ul style="list-style-type: none"> 人口規模は北多摩トップ (63p) 人口構成も35歳~44歳が最多で、生産年齢人口もやや多め 都心のベッタウンで多彩な人材 | <ul style="list-style-type: none"> 東京大学、早稲田大学、武蔵野大学のキャンパス・施設が存在 蔵書数、貸出数は北多摩トップ (75 p) サークルコミュニティ等も活発 | <ul style="list-style-type: none"> 下野谷遺跡 農地や屋敷林 コミュニティFM 情報サービス業 (ソフトなものづくり産業育成策) |
| <ul style="list-style-type: none"> ふつうに、安全で住みやすいまち 駅前商業施設も充実 | <ul style="list-style-type: none"> 通過交通も多い (産業振興マスタープラン懇談会) | <ul style="list-style-type: none"> 保育付き講座も展開 NPOや大学等と連携したまちづくりも | <ul style="list-style-type: none"> キャベツの生産量多摩地区1位 (産業振興マスタープラン懇談会) 市内には農産物直売所も多数 |

西東京市の強み・弱み

| 人口面の | 自然増減 | 社会増減 |
|------|--|--|
| 強み | <ul style="list-style-type: none"> 現状は人口構成のバランスがよく、出産・子育て期の世代も多い (4p) 人口減少自体は比較的緩やかなペースで進行 (10p) | <ul style="list-style-type: none"> 特別区からは転入超過 (特に練馬区、杉並区) (21p) 15~24歳は転入超過で推移している (15p) 手ごろな価格での住宅建設も増加 |
| 弱み | <ul style="list-style-type: none"> 出生率はやや低め (北多摩で最下位) (12p) 一部地域で急速に高齢化率が上昇。将来的には高齢化率が45%以上の地域も (49p) 待機児童数北多摩トップ (73p) | <ul style="list-style-type: none"> 多摩地区には転出超過 (特に東久留米市、小平市) (22p) 若者層 (20~24歳) の流出先は23区 (23p) 女性就労のM字カーブの谷が深い (60p) |

機会

- 東京オリンピック・パラリンピックの開催 (2020)
- 訪日客の増加
- 都市計画道路の着実な整備
- 高齢者の健康寿命の延び

| | | | |
|---|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> いこいな、ラッピングトレイン、観光アプリ開発等の取組 | <ul style="list-style-type: none"> みどりの散策マップなど回遊行動を促す取組 | <ul style="list-style-type: none"> 一店逸品事業、めぐみちゃんメニュー、チャレンジショップ等の取組 | |
| <p>弱み 認知</p> <ul style="list-style-type: none"> 市外認知度が低い (多摩で23位)。固有イメージに欠ける (多摩地域におけるシティプロモーション) 「まちの魅力創造」満足度は13.5%と低い (市民意識調査) | <p>弱み 空間</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口密度は北多摩トップ (71p) 住宅地の平均地価は北多摩トップ (70p) | <p>弱み 産業</p> <ul style="list-style-type: none"> 農家数や農地減少、空き店舗の増加 (総合計画等) 事業所減少 (57p) 女性就労のM字カーブの谷が深い (60p) 域内消費拡大が課題 | <p>弱み イベント性</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲食等消費効果の大きいスポーツ・文化イベントが乏しい |



国勢調査2010年の町丁目別人口